

2010年 8月号

みんな好きやねん フェアプレー
スポーツ きみが主人公！
スポーツは平和とともに！

スポーツおおさか

発行者：新日本スポーツ連盟大阪府連盟
〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央 1-16-15
三双ビル 2階
TEL 06-6942-4751 FAX 06-6942-4753
ホームページアドレス <http://www.osaka-sports.net>
メールアドレス office@osaka-sports.net

第29回反核平和マラソン大会

8コースから138名が元気にゴール！

7月4日（日）早朝は曇り空でした。午前7時に出発した岸和田コースは、岸和田市役所からスタートし、和泉市役所に25名のランナーが到着し、地域の婦人から差し入れを受けていました。

一路、耳原鳳クリニックへと走って行きました。

一方、各コースでも北摂コースは、島本町役場を7時30分に出発し、島本町長代理をはじめ、



富永、河野共産党町会議員、島本スキークラブ 谷口会長他1名の見送りの中元気に13名のランナーと宣伝カー、伴走車2台でスタートしました。

また、奈良・王寺町

からは、8時に18名が出発し途中、柏原市役所で地元の連盟員が出迎えてくれました。

枚方コースは、9時に出発し、守口市役所で給水や市長メッセージなどが渡されました。

河内長野コースは、7時45分に千代田公民館前を25名のランナーがスタートし、途中集合の長居公園を目指しました。

長居公園には5コースが集まり100人を越すランナーが思い思いの“核兵器をなくせ”のゼッケンをつけて大阪城公園へと沿道の人々に「核廃絶」をアピールして走りました。

13時30分の「平和宣言集会」には、まず初参加の歌島（西淀川）コースがゴールし、続いて枚方コース、長居コース、北摂コースの順でゴールしてきました。

大阪城公園のゴールを待ち受けるウォーキングクラブの人々も冷茶と冷しトマトの接待に大わらわとなり、噴水前の広場は反核平和のゼッケンをつけたランナーで埋まりました。

全コース到着を確認して、平和宣言集会が開かれ、園生 一行実行委員長、スポーツ連盟大阪副理事長の小東 喜久次氏が激励の挨拶がありました。

また、各コースからも代表の一言コメントがあり、河内長野コースからは「来年は30人にして参加したい」、今年で3度目に参加した人からは「これで核兵器を3つ減らした」などのエピソード

ソードを交えたコメントがありました。

また、堺コースの北出 祥夫氏は、堺耳原クリニックで岸和田コースと合流し、参加者が35名に増え、今度は長居公園で他のコースと合流し、100人を越す大河となって、大阪城へと来たとその運動の積み重ねごとに広がる様子を語り、「さらにこの平和マラソンを大きな運河にしていこう」とコメントし、拍手あびていました。



最後に、川野 弘之事務局長が「平和宣言」を読み上げ、全員の大きな拍手で確認し、2010年の関西網の目平和マラソン大会は無事成功裡の内に終了しました。

大阪府連盟 第44回定期総会開かる！

7月11日（日）参議院選挙の投票を午前中に済ませて、午後1時30分より定期総会が開催されました。

小東 喜久次副理事長より開会の挨拶があり、議長団が提案され、第1号議案が川野 弘之事務局長より、この1年間の活動と今年の取り組みなどが報告されました。

第2号議案は、加山 勝久財政部長から報告され、1年間の財政状況について、わかりやすく説明されました。

質疑応答では、「平和マラソンの参加費は、連盟員扱いがなぜないのか」「平和マラソン1,500kmの取り組みが出ていない」「大阪スポーツ祭典会計の赤字について」などが出され、それについて各理事から返事が行われました。



総会議案の種目活動のまとめの所は、各種目から特徴などの発言があり、サッカー協の植山理事からは、「サッカーワールドカップの文書が適していないので削除して下さい」、スキー協の松岡代議員は「財政検討委員会が年4回開いて、連盟費の改定が出され、一步前進したと思っている」、ランニングセンターの



園生代議員は「クラブ間交流でクラブ同志の練習会に行き来もするようになってきた」、卓球の入江代議員は「年間大会には、5,000人を越す参加があります」バレー協の渡辺会長は、「総会の参加は新規加盟チームにお願いしている」ウォーキングの三木会長は、「年間15回行事を組んでいる。泊まり込み行事も実施していく」、などこの1年間での各種目の活動が紹介されました。



又、平和マラソンでは、枚方コースを組んだ今枝理事から「20代の若者が参加してきた。ゴールできて大変喜んでる」

国民平和行進に連盟の旗を持って歩いた志賀代議員からは、孫2人と雨の中を歩いてきた。みんなと一緒にシュプレーヒコールをしてがんばってきた。

孫は「行進に参加して平和の大切さを感じた」などと発言が続きました。

総会は限られた時間の中で役員選挙が実施され、渡辺 紀雄理事長他15名役員が選ばれ閉幕しました。



【種目活動の取り組み】

野球 スポーツ祭典野球大会は、40チーム参加で現在まで17試合を消化して、フラワーズチームがベスト8、1番乗りになっています。

又、その他の大会でも内外杯争奪大会は、ベスト8が出揃っています。理事長杯は、なにわヤンキーズ対Baksにより決勝戦となっています。また大阪スポーツ祭典は引き続き7月18日（日）真田山公園グラウンドで行われます。

サッカー スポーツ祭典サッカー大会は、一般18チームで予選リーグが行われ、Aブロック セントラルSC、Bブロック HISTORIAの代表が決まっています。C～Fブロックも19日（祝）深北緑地で行われます。

オーバー35歳は、8チームで現在予選リーグ途中となっています。

オーバー40歳は、10チームでリーグが7月25日から始まります。

テニス スポーツ祭典神崎川ダブルス予選が6月6日に行われ、男子9チーム、女子9チーム、混合8チームの計26チーム52人で予選代表が決まっています。この後7月19日長居庭球場、富田林テニスコートで大会が予定されています。

スキー 9月11日～12日の両日「関西ブロック学習交流会」を滋賀県守山市、琵琶湖リゾートクラブで開催されます。

ヨット 5月30日（日）にヨット教室を5名の参加で実施し、学科と実技練習のセーリング天気も良く、弁当もヨットの上でとり、絶好のセーリング日和に大喜びでした。

ランニング 快走クラブは6月27日（日）に16人が参加してクラブ定期総会を府連事務所にて開催しました。総会后、徳島県から長距離バスで駆け付けた竹崎さん、池田市から来た女性2人も参加して、懇親会で交流を深めました。

2010年度新役員に会長は、加山 勝久氏、副会長は、岩佐 ダン吉氏、谷本 恵司氏が選ばれました。

← 快走クラブの矢田 常子さん（69歳）が6月20日の武庫川フルマラソン大会で400回の完走を果たしました。日本女子第4位、世界女子第5位です。



反核平和マラソン 初参加の歌島コース

伊藤 真美子

ランニングクラブのメンバーから「伊藤さん向けの大会があるよ」と紹介されて「じゃ、みんなで走ろうや」とにわかにかしこを掛けて申し込みました。怖がりの私は、子供のころから「戦争は絶対に嫌だし、まして核兵器なんて全くいらぬものだ」と思っています。反核平和マラソンは以前から参加したかったのですが、仕事や社会活動…なんやかんやと予定が入ってあきらめていたのですが、今回、思いがけない普段はさほど平和について意識してないだろう友人から声をかけられ思いきって走る事が出来ました。当日は体調を崩して、参加人数が7人から4人になってしまいましたが、ワイワイ言いながらゼッケンにメッセージを書き、「平和でこそこんな風に走れるんや」と言いながら淀川の堤防を登りました。来年は、自転車で伴走したいというメンバーもいるし、中学生も一緒に走りたいです。準備下さった皆さんご苦労様でした。



7月3日 原水爆禁止の国民平和行進に参加して…

内田 有紀（中3） 大阪テニス協加盟 ポエムジュニア所属

最初軽はずみな気分で参加していました。でも戦争について考え直せた気がします。

「戦争をなくすぞー!」「原水爆をなくすぞー!」たくさんの人の懸命な掛け声が聞こえてきます。最初はみんなに合わせて言っているだけでした。でも段々自然と自分の意志として言っていました。

学校で戦争の恐ろしさをたくさん学びました。行進しながら学校の授業の事を思い出していると「9条放棄」なんて簡単に言えることではないと思いました。平和行進という行動に参加したことで少し、戦争で亡くなった方々に思いが届いた気がしました。

原爆とは何千万の命をほんの一瞬にして奪い取る恐ろしい核兵器です。そして今尚原爆による後遺症で苦しんでいる人がたくさんいます。

こんな残酷で恐ろしい戦争なんて必要ありません。世界中から消し去るべきと思います。

今回、平和行進をしてたくさん思う事がありました。何より、今まで心の中で思っていた戦争なんて二度と起こしてはならないという思いを平和行進という形で行動に表わせたことで、たくさんの人や後世の人にも伝わった気がします。

私は、この行進に参加できて本当によかったと思いました。

第29回関西網の目 反核平和マラソン大会 まとめ会議開かれる!!

～来年は、30周年記念をやりましょう～

7月12日（月）夜、府連事務所で反核平和マラソン大会のまとめ会議が6コースから8人が参加して行われました。

今年は、ランナー 137人、サポーター 14人、送り出し集会 14カ所 59人と大阪府下の自治体 25府・市・町、18労組団体からメッセージが寄せられ、各コースともランナーが「核をなくせ」のゼッケンでアピール出来た事が確認されました。

また、西淀川歌島コースが新しく参加して、盛り上がったことや参加賞のTシャツが好評だったなど、従来にない前進があった事が確認されました。

毎年、財政赤字が続く実行委員会もカンパなどの協力で前進した事が報告されました。

その後各コースから報告され、岸和田コースの岩佐氏からは、初参加 8人、女性 5人、全盲 1人など従来にない30人参加で取り組みが広がったと報告されました。

また、署名も8人から140筆届けられたとありました。北摂コースの山根さんは、72歳の人から「平和で健康で暮らせることが何より幸せです。」と完走しての便りが紹介されました。

会議では、来年30周年をどうするかの意見があり、5月16日（日）「30周年を祝うレセプション」を開く事が決まりました。

最後に8月の「東京～広島～長崎1,500km 反核平和マラソン」について、コース下見をして、また川野氏から報告を受け、7月16日（金）の関西ブロック会議で詳細が分かるので、協力をお願いしたいとあり、まとめ会議は終わりました。